



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年8月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 シャルレ

コード番号 9885 URL <http://www.charle.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 奥平 和良

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 コーポレートサービス部長 (氏名) 高田 博祐

TEL 078-792-8565

四半期報告書提出予定日 平成27年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	3,940	11.9	236	—	246	—	243	—
27年3月期第1四半期	3,521	—	△104	—	△93	—	△96	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	12.70	—
27年3月期第1四半期	△5.03	—

※当社は、前事業年度より非連結の業績を開示しております。そのため、平成27年3月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第1四半期	22,925	20,410	89.0	1,064.95
27年3月期	23,772	20,514	86.3	1,070.36

(参考)自己資本 28年3月期第1四半期 20,410百万円 27年3月期 20,514百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	18.00	18.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	0.00	—	15.00	15.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注)平成27年3月期期末配当金の内訳 普通配当 15円00銭 記念配当 3円00銭

3. 平成28年3月期の業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,900	4.6	350	△17.6	370	△21.5	330	△23.6	17.22
通期	19,100	2.6	600	△40.0	640	△40.2	410	△59.2	21.39

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期1Q	21,034,950 株	27年3月期	21,034,950 株
28年3月期1Q	1,869,367 株	27年3月期	1,869,367 株
28年3月期1Q	19,165,583 株	27年3月期1Q	19,165,733 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。詳細は添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	2
3. 四半期財務諸表	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用情勢や企業収益の改善、原油価格下落の影響や各種政策の効果を背景に、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。国内レディースインナーウェア市場におきましては、個人消費の足踏みが続く中、アジア圏における人件費の上昇や円安に伴う原材料価格の高騰など、依然として厳しい環境が続きました。

このような経営環境のもと、当社は「女性を元気にする日本一のグループ」を目指して、美と健康の事業領域を中心に、他社との差別化が図れる独自性のあるシャルレらしい「もの」や、喜びや感動を与える「こと」の提供を追求してまいりました。また、生涯を通じていきいきと輝いている「ひと」をサポートするため、女性たちに活躍の機会を提供し、地域を活性化することによって、豊かな社会の実現を目指してまいりました。その為に、シャルレらしい高機能、高付加価値の商品の開発、並びに次世代を担うビジネスメンバーの育成や教育、支援等による組織の再活性化に積極的に取り組みました。その結果、当第1四半期累計期間における経営成績は増収、増益にて推移いたしました。また、平成27年6月に執行役員制度を導入することにより、経営の意思決定や監視・監督機能と業務執行機能を分離し、意思決定及び業務執行の迅速化を実現する経営体制を整えました。

衣料品類におきましては、30代から40代層をターゲットにした新ブランド「シャルレ セルフィア」を本格展開し、バストの揺れをおさえて大胸筋を鍛える「美意識ブラジャー」や、前身頃・上下後身頃の3面の立体設計で無理な負荷をかけずに自然にウエストラインを整える「くびれマジックインナー」、ヒップを下方から引き締めて横の広がりをおさえる「美小尻ショーツ」を新定番商品として発売いたしました。新ブランド立ち上げに伴い、専用WEBサイトや雑誌掲載等による広告宣伝やビジネスメンバー向けの販促キャンペーンの実施により、ビジネスメンバーの活動意欲が高まり、売上高は好調に推移しました。また、アウトターブランドである「シャルレドレス」では夏向け商品の売上が好調に推移しました。

化粧品類におきましては、ヘアケア・ボディケアシリーズの「シャルエーゼ」より、リピート購入を目的としたお得なセット商品を発売し、化粧品全体の売上高は前年を上回りました。

前年、新たな商材として発売しました健康食品類につきましては、「ns(エヌエス)」ブランドとして4種類の商品展開を図るとともに、インターネット等による通信販売を行う「シャルレダイレクトサービス」に「定期お届け便」制度を導入し、愛用者の拡大を図ることができました。また、健康食品類の全4種類を2015年モンド・セレクションに出品し、ダイエット・健康製品部門において全ての商品が金賞を受賞いたしました。

営業施策面におきましては、全代理店を対象とした「第32回シャルレ代理店セミナー」を開催し、経営方針や各種施策の共有を図るとともに、代理店との一体感を醸成し、ビジネス活動の意欲喚起に結びました。また、ビジネスメンバー組織の活性化を目的に、単年度のインセンティブ施策を実施するとともに、組織拡大に繋がる教育研修や現場支援に積極的に取り組んでまいりました。

前年、大阪心斎橋に出店いたしました直営店「シャルレ・ザ・ストア」におきましては、当社商品の試着や美と健康に関する情報発信などのサービスを提供し、過去購入経験のある顧客からの再購入や、「シャルレ セルフィア」等の新商品の試着を目的とした新規顧客の来店等の成果が見られました。

これらの結果、当第1四半期累計期間における当社の売上高は、衣料品類における新たなターゲット層への新商品の投入や健康食品類の拡充により、39億40百万円(前年同四半期比11.9%増)となりました。その他、前年同四半期の消費税率引き上げの反動による売上減少の影響も、当第1四半期は売上増加の一因となりました。利益面につきましては、アウトター類の売上高が計画通り推移した為、在庫評価損が大幅に減少し、営業利益は2億36百万円(前年同四半期は1億4百万円の営業損失)、経常利益は2億46百万円(前年同四半期は93百万円の経常損失)、四半期純利益は2億43百万円(前年同四半期は96百万円の四半期純損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は、現金及び預金の減少31億29百万円、有価証券の増加26億円、商品の減少1億39百万円等により前事業年度末に比べ8億47百万円減少して229億25百万円となりました。負債は、買掛金の減少2億86百万円、未払金の減少3億86百万円等により、前事業年度末に比べ7億43百万円減少して25億14百万円となりました。純資産は、利益配当金3億44百万円、四半期純利益2億43百万円等により、前事業年度末と比べ1億3百万円減少して204億10百万円となりました。以上の結果、自己資本比率は、前事業年度末の86.3%から89.0%に上昇しました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年5月13日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,139	6,010
売掛金	105	106
有価証券	3,659	6,259
商品	3,594	3,455
貯蔵品	38	37
繰延税金資産	455	455
その他	229	152
貸倒引当金	△49	△51
流動資産合計	17,172	16,424
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,238	1,220
土地	907	907
その他（純額）	281	248
有形固定資産合計	2,427	2,377
無形固定資産		
ソフトウェア	923	883
その他	19	18
無形固定資産合計	943	902
投資その他の資産		
投資有価証券	1,587	1,583
前払年金費用	626	652
繰延税金資産	371	371
その他	649	620
貸倒引当金	△5	△5
投資その他の資産合計	3,229	3,221
固定資産合計	6,600	6,500
資産合計	23,772	22,925

（単位：百万円）

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成27年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	834	547
未払金	950	563
未払法人税等	19	-
賞与引当金	282	129
その他	399	535
流動負債合計	2,487	1,775
固定負債		
売上割戻引当金	213	213
退職給付引当金	383	374
その他	174	150
固定負債合計	771	738
負債合計	3,258	2,514
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,600	3,600
資本剰余金	4,897	4,897
利益剰余金	13,326	13,224
自己株式	△1,295	△1,295
株主資本合計	20,528	20,427
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△14	△17
評価・換算差額等合計	△14	△17
純資産合計	20,514	20,410
負債純資産合計	23,772	22,925

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	3,521	3,940
売上原価	1,841	1,852
売上総利益	1,679	2,087
販売費及び一般管理費	1,784	1,851
営業利益又は営業損失(△)	△104	236
営業外収益		
受取利息	1	2
有価証券利息	6	4
受取配当金	0	-
雑収入	4	4
営業外収益合計	12	11
営業外費用		
支払利息	0	0
雑損失	0	0
営業外費用合計	1	0
経常利益又は経常損失(△)	△93	246
特別損失		
固定資産除却損	0	-
特別損失合計	0	-
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△93	246
法人税、住民税及び事業税	2	3
法人税等合計	2	3
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△96	243

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。